

令和3年度第2回 北九州市立美術館協議会議事録（要旨）

名称 令和3年度第2回北九州市立美術館協議会

議事

- (1) 議題1 令和4年度の取組（案）について、平成30年～令和4年度の取組内容及び評価指標について
- (2) 議題2 北九州市立美術館「基本理念と基本方針」一部修正と「運営5カ年計画」改定のスケジュールについて

開催日時

令和4年3月18日（金） 14時～16時

開催場所

北九州市立美術館本館 アネックスレクチャールーム

出席者

- | | | |
|-------|--------|------------------------------------|
| (会 長) | 山梨 俊夫 | 全国美術館会議事務局長 |
| (委 員) | 外山 典子 | 北九州市立竹末小学校 校長 |
| | 原田 美紀 | 原田・川原法律事務所 弁護士 |
| | 野依 智子 | 福岡女子大学教授 |
| | 舟木 ヤス子 | 北九州市婦人団体協議会会長 |
| | 中村 雄美子 | NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee 代表理事 |
| | 坂本 百合子 | 市民委員 |
| | 大久保 大助 | NPO法人KID's work 代表理事 |
| | 大庭 明美 | 北九州美術家連盟 |
| | 森山 秀子 | 久留米市美術館 副館長兼学芸課長 |
| | 門田 彩 | 北九州市立大学文学部准教授 |
| | 安永 繁文 | 北九州商工会議所参事 |
| | 橋本 剛 | 西日本新聞社企画事業室 事業部長 |
| | 百留 康隆 | 毎日新聞西部本社事業部長 |
| (事務局) | 後小路 雅弘 | 北九州市立美術館 館長 |
| | 田上 裕之 | 北九州市立美術館 副館長 |
| | 鐘ヶ江 祐二 | 北九州市立美術館 普及課長 |
| | 那須 孝幸 | 北九州市立美術館 学芸課長 |
| | 宮本 真彦 | 北九州市立美術館 普及係長 |
| | 米田 主税 | 北九州市立美術館 分館長 |
| | 手銭 康明 | 北九州市立美術館 普及課 |
| | 落合 朋子 | 北九州市立美術館 学芸課 |

議事録（要旨）

事務局	本日の配布資料、議事の説明、傍聴者の確認（1名）、館長挨拶、会長挨拶、委員挨拶
<p>議題1「令和4年度の取組（案）について、平成30年～令和4年度の取組内容及び評価指標について」</p> <p>議題2「北九州市立美術館「基本理念と基本方針」一部修正と「運営5カ年計画」改定のスケジュールについて」</p>	
事務局	議題1についての説明
会長	ただいまの説明についてのご意見・ご質問等ありましたら、お願いします。
委員	市民センターとの連携・利用の働きかけについてお尋ねしたい・
事務局	2月に年間スケジュールを配布し来館依頼をしたり、出前講演の案内もしている。展覧会・講演会・レストランでの食事という形で提案している。
委員	市民センターと一緒に事業を作っていく、例えば地域出身の画家の歴史を探るときにご尽力いただくとか美術館の収蔵庫を見せるとか、こんなこともできますという提案がたくさんあるとよい。
事務局	委員のおっしゃるとおり市民センターの要望を聞いて対応するのが重要だと思っている。そこで新年度より順次、市民センターの館長会議の場に出向き事業を紹介し意見を聞いていく予定である。
委員	外国人向けの広報活動は旅行者向けか在住者向けか。
事務局	基本的には旅行者向けを考えている。
委員	言語は何か。
事務局	今まで統計をとっており、東南アジア・韓国系・中国が多い。
委員	そういう人達が何が好きそうとか傾向を既に分析しているのか。
事務局	そうである。和風や墨絵などに反応が良い。
会長	市民センターとの意見交換は非常に有効だと思うのでお互いに有効な方向を見つけていくことが出来たらすごく望ましい。 外国人の対応も地域の特性に合わせて対象を明確にしながら方策を考えていくということが必要になってくると思う。
委員	市民センターの館長の経験があるが、センターの美術館の活用の仕方がわからない。センターには「いきいき子ども講座」というのがあり、その講座で施設見学から始めるのもいいのではないか。
事務局	市民センターからの要望でセンターの講座や見学等の提案があるので、要望に沿って対応していきたい。小学生向けの企画は元々行っているもので、柔軟に対応していきたい。
委員	令和4年度の取組のところで緊急性の高い作品から順次修復を行うとあるが、具体的な修復の計画はあるか。
事務局	近々公開する予定があるもの、全国の美術館に貸し出す予定のものなどが緊急性ということでは分かりやすいものである。一方、紙の作品や作品を囲んでい

	<p>るマットで酸化が進み黄ばむため酸化しない紙に変えていくなど、これ以上放っておけないものを順に修復している。</p>
委員	<p>作品や図書のデータベースも順次、整理・精査等を行っていくということかと思うが、こちらにも必要があるものからやっていくという形になるか。</p>
事務局	<p>データベースの順番も5カ年計画にも載せており単年度計画でも課題とせずずっと挙げている。数字や目に見える形で示し辛いですが、皆さんに分かりやすい形で進捗をお知らせしたいと思う。</p>
委員	<p>長期ワークショップの「ぬいかけの植物園計画室」は2022年度で終わりなのか続けていくのか。</p>
事務局	<p>この企画は2016年から始まったもので、10年を目標に行っているのだからからも継続していく予定で、来たい子供たちがずっと来れる、通っていけるように縦軸の企画を立てたいということで計画している。</p>
委員	<p>自分の娘が正面ホールの階段横のスペースが大好きで、これからも続けて欲しいと思った。</p>
会長	<p>データベース作成には手間暇とお金が非常にかかるので、どこの美術館もそのための体制づくりに苦労をしている。色々な形の外部資金をこのために獲得していくということも視野に入れながら進めると有効かと思う。</p>
委員	<p>データベース作成についての評価指標は状況だけでは評価できない。漠然と2024年を目指すのではなく、何らかの数字が必要だと思う。 質問として、3番目の交流のところで、独自の自立型のボランティア制度を構築するとあるが、どういったイメージで考えているか。</p>
事務局	<p>データベースは開館50周年の節目に、なにかしら公開できる形にすることを目標としている。8000点の所蔵品があるのでなんとか形にしたいが、課題も多く、時間とお金も鑑みながら目標の立て方というのも見直していきたい。 独自の自立型のボランティア制度について、当館は全国でボランティア制度を導入した最初の美術館で、開館当初はその点でも注目されていた。 ただ、当時の形はお願いしたことをしてもらうのが基本で、平日の日中にできるのは主婦層が中心で、現在の考え方・関わり方とは随分違っており、2017年のリニューアルを機に解体して再募集をかけた。 当館がイメージしているのはボランティア自らが企画を立案し実現していくことである。 しかしながらこの2年間はボランティアに来て欲しいと言える状況ではなく、また、ワークショップも開きづらい状況であり、停滞している。 今後しばらくウィズコロナの状況が長引くことが予想されるのでボランティアとの関わり方や活動そのものの見直しというのも議論している所である。</p>
委員	<p>私の方でもコロナのせいでボランティアの研修もままならないが来年度から少しずつ始めようとしており、自立型ボランティアに大変関心を持っている。</p>
会長	<p>データベースの構築も日常的な業務が忙しいと思うが、具体的な数値目標を作ってやった方が良いと思う。 ボランティア活動については、参加者と美術館との連携のあり方について再考するいい機会と思って頑張っていたきたい。</p>

委員	感覚的なもので良いので、来館者の人数や例えば時間的なピーク、グループの構成とかそういう変化がわかれば教えて欲しい。
事務局	感覚的であるが、以前は午後2時頃が来館者のピークであったが、今は分散型になっている。友人よりも家族が増えている印象。コロナの関係で、大声を出したり作品を触ったりなどのマナー違反がなくなった。
事務局	フィンランドデザイン展は若い人達が多く、遠くから来ている方も多かった。展覧会の内容によっては遠くからでも来ると感じた。
委員	ミュージアム機能設備の強化の部分について。来館者サービス向上のためのカード決済について、入場券の購入や入場についてもいわゆるチケットレスとそれに伴う入場の分散が全国的にも顕著で、コロナ禍の中で安全安心の意味でも一つの可能性があると思うが、美術館はどう考えているか。ポイントの付与などによる美術館のファンづくり・困り込みの部分を含めて制度設計の考えを伺いたい。
事務局	現在、ペイペイを導入しているが、来館者のサービス向上という意味でカード決済は考えている。予約制は費用対効果の面があり、検討はしたが難しい。
委員	今後コロナが落ち着いた後に、エコポイントをどう還元していくかということで新たなチケットレスのシステムを利用して活用していきたいと考えているので、今後も情報交換をしていきたい。
会長	令和4年度の取組に関わる意見については事務局で精査をして、皆様に案を郵送する形で次に進めていきたい。 基本理念と基本方針の一部修正、及び5か年計画の改定スケジュールについて事務局から説明願いたい。
事務局	議題2についての説明
会長	改定の内容については、現時点では具体的に示す段階にないということだが、美術館の活動やあり方について委員の意見を聞きたい。
委員	年度末に外部評価を行うにあたり具体的な指標や目標を設定してほしい。
会長	定量評価に傾倒する懸念はあるが、そうできない部分もたくさんあると考える。どの美術館もそうだが定性評価の部分にどういう風に力を入れるか苦慮している事情も理解いただきたい。
委員	ホームページ等に掲載されることもあり、外部評価の目的とか分かりやすいように示してほしい。
事務局	事務局の方で検討するので、次回7月にご審議いただきたい。
委員	小学校の美術鑑賞教室は好評なので、次の5年計画にも継続していただきたい。
委員	友の会は美術館と連携して情報誌の発信やミュージアムショップの充実に努めているが、会員募集に苦慮している。友の会に入りたいという方は美術館に興味があるだろうから、より美術館に興味をもってもらえるような検討もしていきたい。
委員	ジェンダーの視点に立った展示内容等で新たな来館者が期待できるのではないかと考える。一昨年の国立民族博物館での展示会が好評だった。

委員	ボランティアに対する研修は美術館職員が行っているのか。
事務局	募集自体も美術館であり、数ヶ月にわたる研修も職員が行っている。
委員	ボランティアの育成は、他機関との連携や専門的な研修、情報提供の内容等も研究してはどうかと思う。
委員	婦人会として、身近な施設として美術館をPRしていきたい。
委員	SNSの充実について、利用者分析に取り入れるなど活用について検討してほしい。
事務局	ホームページを4月にリニューアルし、ツイッターも最近開設した。また、コロナ禍でもあるため、ネットでのアンケートも検討したいと考える。
委員	以前はシャトルバスが運行されていたが現在は西鉄バスが通っている。本数はどのくらいか。
事務局	1時間に2～3本運行されている。
委員	小倉の都心から公共バスで美術館まで直接来ることができるということを、もう少しバス事業者とPRなど検討してはどうか。
事務局	美術館行きのバスは「7M」番で、Mはミュージアムを指す。周知いただければありがたい。
委員	子どもが興味をもてば親が来るので子ども向けの企画や、美術品の修復作業をYouTubeに投稿したり、美術館は食事もできてデートコースになる、夜景もきれいなどをPRして、来館したくなる仕掛けがあれば面白いと思う。
会長	委員のおっしゃるとおり、美術館周辺の環境を積極的に利用していくような方法も考えてほしい。
委員	小学校の美術鑑賞の計画には、将来的にまた誰かと来館してほしいという趣旨も含まれている。
委員	美術館を経由すると知らないでバスに乗っている人もいると思う。バス停辺りにレストランや彫刻もあるなど、おしゃれな看板があればPRになると思う。
委員	企画展とコレクション展の料金が別々だが何か工夫できないか。企画展の中にコレクション展を含めて見てもらえるシステムが作れるといいと思う。
会長	協議会の内容から外れるが、今後、展覧会の料金は上がっていくと思われる。東京では大型展覧会の料金上限を撤廃したため2,000円を超えてくる。ただ、博物館法には博物館、美術館は非営利であると謳っている。
委員	ミュージアムツアーのボランティア募集の予定はあるか。今年度学生を数名参加させてもらったが好評だった。
事務局	昨年は試行として行ったが、最後のアンケートには非常に良い意見をもらった。来年度は学生だけでなく一般の方にも募集を広げる。5/15号市政だよりに掲載を予定している。
委員	怖い絵展とかジェンダーとか補助線を引くことで色々な美術展という切り口ができる気づかされ大変刺激になった。本館は建築としても立地環境にしても他の館にはない付加価値もある。デジタルアートとかプロジェクションマッピングとかそういう新しい取り組みが行えれば良いなと思う。 チケットの高額化は、コロナ禍での輸送コストの高額化やスタッフ確保の困難

	<p>など、美術館運営自体が難しい時代に来ていると思われる。</p>
委員	<p>チケット高額化に関連して、美術展だけでなくスポーツや他のイベントを行う際の警備員とか人件費の高騰を感じており苦勞している。</p> <p>さきほど気づいた点で質問だが、資料中に美術品購入費の予算があるが、海外の作品など収集しようとする際、予算以上のものは諦めるのか、予算を繰り越していくのか。</p>
事務局	<p>美術品購入のための基金を積み立てていたが、10年以上積み立てはなく、現在は基金を崩して購入している。</p>
会長	<p>所蔵のモネの作品も、今買うとすると購入時の10倍はするだろう。国際マーケットの絵画の値段というのをご承知いただき、美術館活動を理解していただくとうれしく思う。</p> <p>議題に沿った話だけではなく、積極的な、いろんなお話が伺えて非常に意義があると思う。こうして自由に意見を述べていただくことが美術館活動の中でとても大事だと思うので感謝したい。どうもありがとうございました。</p> <p>最後に事務局から報告はあるか。</p>
事務局	<p>令和4年度の第1回目の会議は7月を予定している。日程はまた調整させていただきます。</p>
会長	<p>これをもちまして、令和3年度第2回北九州市立美術館協議会を終了いたします。</p>